

西濃農林事務所の普及活動状況（令和7年2月）

今月の重点活動

■みどり戦略 西濃農業の活性化をめざすセミナーを開催

農林事務所（共催：JAにしみの、西南濃農業普及事業推進協議会）は、2月5日、ソフトピアジャパン（大垣市）において、西濃農業の活性化をめざすセミナーを開催した。営農組織の代表者や関係者、約120名が出席した。

「みどりの食料システム戦略」をテーマに、農林事務所は「葉物野菜産地の有機農業実証ほの成果」、JAにしみのは「水稻の高温対策と可変施肥技術の成果」について事例報告を行った。また、東京農業大学名誉教授の後藤逸男氏より「国内産肥料資源を活用した環境にやさしい農業のすすめ」と題した講演があり、土壌診断を行い、科学的根拠により、化学肥料と有機物を組み合わせて農業に取り組みというメッセージが贈られた。

農林事務所は、今後も生産者にうったえる研修会を企画し、情報発信していく。



【セミナーの様子】

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■地域振興 西濃地域農政推進会議の開催

農林事務所は、2月27日、西濃総合庁舎において、西濃地域農政推進会議を開催した。管内各市町、JAにしみの、農業共済西濃支所の各担当課長14名が出席した。

農林事務所は、今年度の活動評価に加え、夏期高温対策等の喫緊課題を反映した「令和7年度普及指導計画」を説明した。各関係機関からは、令和7年度農業振興施策等の情報提供が行われた。

また、新規就農者確保に向け、「西濃地域就農支援協議会」の設立について、市町へ説明を行った。



【会議の様子】

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■土地利用型作物 農作業安全&小麦の追肥指導

水田農業の担い手で組織される海津市営農協議会は、2月4日、JAにしみの海津中支店において、農作業安全を目的に「作業班オペレーター研修会」を開催した。50人を超える各営農組織のオペレーターが集まった。

第1部は、全農ぎふの講師のもと、室内研修が行われた。農林事務所は、農作業安全に加え、2月から始まる小麦の追肥管理について指導を行った。

第2部は、支店の駐車場において、（株）丸山製作所より実演研修が行われた。ハイクリアランスブームスプレイヤー（乗用管理機）を使った、機械の仕様、安全点検、安全作業、農薬の飛散防止等について説明後、意見交換が行われた。



【乗用管理機安全指導】

■土地利用型作物 営農集団等地域リーダー研修会

2月26日、JAにしみの本店において、営農集団等地域リーダー研修会が開催された。地域の担い手やJA全農岐阜、農業共済組合等、約230名が参加した。

研修会では、第9回JAにしみの『旨い米』コンクールや第6回JA米多収コンテストが行われた。



【開催風景】

農林事務所は、令和6年産水稻の状況、みどりの食料システム戦略に係る実証結果について情報提供を行った。

■甘長ピーマン 栽培研究会の開催

2月4日、JAにしみの海津営農センターで、海津甘長ピーマン部会の栽培研究会が開催された。農林事務所は、今後の気象予報、育苗時に問題となる病害虫対策、定植後の初期管理について説明を行った。また、研究会終了後、希望者に施肥設計相談会を行った。

甘長ピーマン部会では、昨年、自家育苗の苗で白星病の発生が問題となったことから、重点的に対策を指導している。



【栽培研究会】

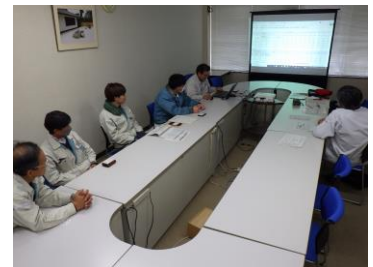
■いちじく ぎふ清流GAPの模擬評価の実施

農林事務所は、2月17日、(株)三星砒業(垂井町)に対し、ぎふ清流GAPの模擬評価を行った。

(株)三星砒業は大垣市内でいちじくを75a栽培する他、野菜も栽培している。また、滋賀県北部で水稻、えごまの栽培も行っている。

昨年夏に農林事務所へ訪問後、9月からぎふ清流GAPに取り組み、半年の実績を評価した。今回の評価品目はいちじくで行い、会議室で書類確認後、倉庫やいちじくの出荷調整場を現地確認した。

(株)三星砒業は、令和7年度にぎふ清流GAPの評価を受ける予定であり、今回の指摘事項を改善し、本番では高い評価が得られることが期待される。



【模擬評価の様子】

■冬春トマト データ連携基盤「岐阜県用 SAWACHI」の実証開始

海津トマト部会は、昨年度から農業DXプラットフォームプロトタイプモデル産地として、環境データを活用した栽培に取り組んでいる。

農林事務所は、新たなデータ連携基盤である「岐阜県用 SAWACHI」を用いた栽培支援を開始した。

参画した8名の生産者からは、わかりやすい画面表示の要望がある等、データ活用に向け、積極的である。

農林事務所は、データを活用した栽培技術向上に向け、支援を継続していく。



【SAWACHI トップ画面】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■バラ 関東東海花の展覧会特別賞受賞

第73回関東東海花の展覧会が、1月31日から2月2日、東京都で開催された。西濃管内からは3名の生産者が出品し、神戸町のバラ生産者が特別賞を受賞した。

当展覧会は、岐阜県の花き・観葉植物をPRする良い機会となる。農林事務所は今後も高品質生産に向けた支援を継続していく。



【特別賞のバラ】